

ときめき人

Tokimeki bito

努力を積み重ねて
夢を実現
新たなる挑戦が
幕を開ける

佐沼中出身

千葉 虎士さん

ちば とらじ

2005年生まれ 179cm 67kg

ポジション：ディフェンダー



©SPORTS YAMAGATA21

「トップチームへの昇格を聞いた時は、実力を認めてもらったことがうれしくて、すぐ親に報告しました」。そう話すのは、現在プロサッカーチームであるモンテディオ山形のユースチームに所属し、2024シーズンからトップチームへの昇格を決めた千葉選手。幼い頃からの夢であったプロサッカー選手への扉を開いた。

千葉選手がサッカーを始めたのは小学2年生の時。当時、サッカーブラジル代表でプレーしていたネイマール選手に憧れて、スポーツ少年団「エスペランサ登米F.C.」に入団した。プロサッカー選手になりたいという夢は、いつしか明確な目標となり、佐沼中3年時にモンテディオ山形ユースのセレクションに合格。単身山形県に移住し、プロになるた

めの挑戦が始まった。

ユース入団直後は、レギュラーメンバーに選ばれずに悔しい思いをするも、全体練習はもちろん自主練習にも励み、努力の末にレギュラーメンバーを勝ち取った。その後、持ち前のスピードを生かしたドリブルや、精度の高いフリーキックを武器に、チーム内での存在感を高めていき、その結果が認められてトップチームへの昇格を果たした。

「絶対にプロの選手になるんだという強い気持ちを持って努力を続けてきたことが結果につながったと思います。今まで支えてくれた全ての人に感謝しているので、早くデビューしてプレーと結果で恩返ししたいです」。プロのステージでの活躍を誓い、新たなる挑戦が幕を開ける。

編集後記

▼二十歳の集いを取材。参加された皆さんの明るく元気な笑顔に癒やされながら、希望を胸に新たな一歩を踏み出す姿に感動しました。皆さんの人生が飛躍し、それぞれの進む先で活躍されること、そして幸多き道を歩まれることを心から願っています。(木戸浦)

▼広報コンクールに応募し、県の審査の結果、広報紙部門で広報とめの10月号が、写真の部で同号の表紙が選ばれ、全国に推薦されることになりました。広報紙は市民皆さんの活躍があつてこそ。今後も皆さんの活動を追いかけていきますので、追われても逃げないでください。(高橋)

▼元日に発生した能登半島地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。東日本大震災から13年を迎えます。改めて災害への備えを見直しましょう。なお、3月11日午後2時46分に、屋外放送サイレン吹鳴による一斉黙とうを実施します。ご理解とご協力をお願いします。(渡邊)



登米市公式ホームページ
<https://www.city.tome.miyagi.jp/>



登米市メール配信サービス
(防犯や防災、市政に関する情報などを配信)
<https://mail.cous.jp/tomecity/>



登米市公式 LINE
(市政、イベント情報などを配信)
<https://line.me/R/ti/p/%40972tqqam>

